

2020年10月14日

日本語用論学会
会員の皆様

日本語用論学会

2020年度の第23回大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン開催となります。多くの会員の皆様からの研究発表のご応募をいただき、口頭発表26件、ポスター発表7件、ワークショップ3件の合計36件が採択となりました。現段階での概要を、以下の通りお知らせいたします。

【日本語用論学会第23回大会概要】

◆日程：2020年11月28日（土）、29日（日）

◆会場：Zoom オンライン

◆参加費（事前登録）：一般会員1,000円 学生会員無料 非会員は一般・学生とも1,000円

※参加費の当日申込はできません。詳細は後日お知らせしますが、期間内に事前登録をお願いいたします。

◆大会テーマ

「おしゃべりな私たち：Keep doing pragmatics!」

◆ 主なプログラム

11月28日（土）

9:30～11:20：ワークショップ

9:30～12:10：口頭発表

（休憩 60分）

13:10～15:00：口頭発表・ポスター発表

15:10～15:30：会員総会

15:40～16:40：会長就任講演 滝浦真人会長

17:00～18:00：特別講演 井出祥子先生

11月29日（日）

9:30～12:40：口頭発表

（休憩 60分）

13:40～16:40：シンポジウム

16:45～16:55：閉会式

【会長就任講演】

「日本語にイン／ポライトネス研究が必要なわけ」

日本語用論学会会長 滝浦真人放送大学教授

【特別講演】

「場の語用論—パラダイムのハイブリッドを求めて」

日本女子大学名誉教授 井出祥子先生

【シンポジウム】

テーマ：会話分析の基軸と展開

「相互行為における認識性」

早野薫先生（日本女子大学）

「子ども（非定型発達児を含む）の相互行為」

高木智世先生（筑波大学）

「日本語教育における CA」

岩田夏穂先生（武蔵野大学）

「相互行為における身体資源」

城綾実先生（早稲田大学）

【口頭発表の方法】

以下の 2 方式のいずれかで行う予定です。

①オンデマンド方式（収録動画＋質疑ライブ）

〔収録動画〕発表者が事前に収録し、学会に提出した口頭発表の動画（25 分）を 11 月 25 日（水）までに学会公式ホームページに掲載します。

大会参加手続きをした方は視聴が可能となり、文字掲示板に質問を記載することができます。

〔質疑ライブ〕大会当日に質疑応答（15 分）を Zoom オンラインにて行い、事前に記載された質問および当日の質問に発表者が回答します。

②リアルタイム方式（発表・質疑ともライブ）

発表者は口頭発表と質疑応答（合計 35 分）を、大会当日に Zoom オンラインにて行います。

大会参加手続きをした方に Zoom オンラインの URL をお知らせし、視聴が可能となります。

【ワークショップの方法】

口頭発表のオンデマンド方式に準じて行います。〔収録動画〕発表者が事前に収録し、学会に提出した各発表の動画（合計 80 分）を 11 月 25 日(水)までに学会公式ホームページに掲載します。大会参加手続きをした方は視聴が可能となり、文字掲示板に質問を記載することができます。

〔質疑ライブ〕大会当日に質疑応答（35 分）を Zoom オンラインにて行い、事前に記載された質問および当日の質問に発表者が回答します。

【ポスター発表の方法】

発表者が指定書式で作成し、学会に提出したポスターを 11 月 25 日（水）までに学会公式ホームページに掲載します。大会参加手続きをした方は閲覧が可能となり、文字掲示板に質問を記載することができます。質疑応答は以下の 2 方式のいずれかで行われる予定です。

①文字掲示板のみ

発表者は文字掲示板の上のみで質問に対する応答を行います。

②文字掲示板＋質疑ライブ

大会当日に質疑応答（15 分）を Zoom オンラインにて行い、事前に記載された質問および当日の質問に発表者が回答します。

プログラムや開催方法等の詳細は、決まり次第、会員メーリングリスト、学会公式ホームページにてお知らせして参ります。随時ご確認をよろしくお願いいたします。

以上